

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	106	学校名	仙台市立八乙女小学校	校長名	小山 裕巳
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のテーマ 「八乙女小ができる身近なエコ活動」



2 取組の紹介

(1)環境委員会による標語のポスターの掲示

環境委員会が自分たちの学校生活を振り返って、自分たちの学校・学年・学級で「こんな学校なら」という思いで作成し校内いろいろな場所に掲示しました。教室移動や登下校の際に児童が目にする他、各学級でも学級活動の際に話題にしています。



(2)学校花壇の緑化活動

校舎前の花壇前を本校児童は登下校します。児童が花壇を目にして、少しでも児童の心をなごませられればと花壇に植栽しています。環境委員会の児童が中心となって水やりや雑草取りをしながら育てています。パンジー100株、ビオラ100株、ノースポール50株を花壇にきれいにバランスを考えて植えました。



(3)リサイクル活動

① 各教室から出る紙資源の回収

各学級にリサイクルボックスを置いて、学級から出る紙資源を毎週、環境委員会が回収してリサイクル活動に取り組んでいます。各学級から回収した紙資源を下記の種類に分類しています。

- ・色付きの紙 ・白黒の紙 ・普通紙 ・白画用紙
- ・上質紙 ・封筒 ・雑紙

② 各教室のゴミ箱による分類

各学級にゴミ箱を2種類用意しプラごみと燃えるゴミを分別しています。捨てる際にこれはプラごみか燃えるゴミかを児童が考えて捨てています。2種類のゴミは、ゴミ倉庫に清掃後持ち込まれ指定されたポリバケツに捨てられ、技師の方たちによってゴミの収集日に搬出されています。



3 取組の成果

身近な学校生活を児童が見つめ直すことによって、改善した方がよい課題がたくさん出てきました。課題の中から児童が取り組める活動を話し合い、教師からのアドバイスを基に活動の内容を決めていきました。児童目線で見つけた課題であることから、環境委員会を中心に各学級での取組も積極的な活動となっています。特に、ゴミの分別に関しては、校内でも当たり前の活動として取り組むことができている点はすばらしいと感じています。